

記念式典を挙行

市制施行を祝い 9月1日に記念式典

昭和26年9月1日に産声を上げてから、60年。平成23年9月1日、赤穂市は市制施行60周年を迎えました。

これを記念して、記念式典が文化会館大ホールで挙行されました。

式典は、赤穂観光大使のハリーモニ力演奏家 斎藤寿孝（じゅこう）さんによるハリーモニ力の独奏で幕を開け、明石副市長による開会のあいさつ、物故者及び震災犠牲者への黙祷が行われ、続いて赤穂出身の音楽家 土井美穂さんが国歌を独唱しました。

記念表彰では、市政特別

功労者顕彰及び市政特別感謝状、市政功労者感謝状を贈呈。長年にわたる功績を称えました。（受賞された方々は3〜5pに掲載）

式典には姉妹都市の茨城県笠間市や熊本県山鹿市などから、多くの来賓の方々に出席いただき節目の年を祝いました。

また、女声コーラス団体「チャンティ・ママ」の皆さんが「市歌」と「愛する街 赤穂」を合唱、式典に花を添えていただきました。

最後に市内中学生が市民憲章を朗読し、市制施行60周年記念式典の幕を閉じました。



市長あいさつ

わがまち「赤穂」は「忠臣蔵のふるさと」として「塩のまち」として豊かな自然と歴史、文化にはぐくまれながら発展してまいりました。

本市は昭和26年9月1日、赤穂町、坂越町、高雄村の合併により誕生し、その後、有年村、福浦地区との合併を経て現在に至っております。

その間、幾多の社会経済情勢の変遷の中、郷土を愛する市民並びに先輩各位の知恵と努力により、一つ一つ試練を克服し、西播磨地域の一翼を

担う中核的都市として躍進を続け、全国でも住みよいまちとして高い評価を受けるようになりました。

ひとえに時代時代において市政を力強く支えていただきました市民の皆様や関係各位のご尽力の賜物であり、心より深甚なる敬意と感謝の意を表する次第です。

意義深い本日を単なる市制施行の節目としてではなく、新総合計画の都市像である、「人が輝き自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」の実現に向け、皆様と共に手を携え、心を一つにして赤穂のために、元気ある地域社会の創造と市民サービスの向上のため邁進すべく、決意を新たにす日になしたいと存じます。

- 02 赤穂市制施行60周年記念式典を挙行
- 06 地域全体で支えあう、心ふれあうまちづくりを目指して
- 08 9/10～16は自殺予防週間
- 09 9/24～30は結核予防週間
- 10 9/1は下水道供用開始30周年
- 11 9月は障がい者雇用支援月間
- 12 フォトニュース
- 14 市長こんわ会 ほか
- 16 まるごと赤穂大博覧会 2011開催 ほか
- 18 情報コーナー
- 22 社協だより
- 24 ぐらしのカレンダー

人口の動き(7月) 住民基本台帳登録者人口

世帯数	19,862戸	(- 6)
人口	50,826人	(- 35)
男	24,539人	(- 21)
女	26,287人	(- 14)

()内は前月比

◎7月中の異動

出生	27人 (- 13)	転出	73人 (- 20)
死亡	34人 (- 12)	その他増	1人 (+ 1)
転入	44人 (- 42)	その他減	0人 (± 0)

交通事故発生状況

区分	7月	平成23年累計
発生件数	118 (+ 15)	883 (+109)
人身	20 (+ 2)	141 (+ 2)
物損	98 (+ 13)	742 (+107)
死者	0 (± 0)	3 (+ 1)
重症	2 (- 1)	13 (- 8)
軽傷	22 (+ 6)	147 (+ 11)

()内は前年比

火災・救急状況

区分	7月	平成23年累計
火災	3 (+ 3)	12 (+ 3)
救急	144 (+ 21)	1,054 (+ 136)

()内は前年比

火災発生時での問い合わせは ☎43・6899 まで